■団体名:特定非営利活動法人 ふくしまバリアフリーツアーセンター

■所在地: 〒960-8031 福島県福島市栄町1-1 福島駅西口2F

■TEL/FAX:024-531-7382

■ E-mail: fukushima-bftc@bz03.plala.or.jp

■URL: http://www.fukushima-bftc.jp/information/

特定非営利活動法人

ふくしま バリアフリー ツアーセンター

佐藤 玲子·林 宏·佐藤由香利



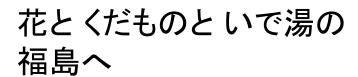
JR福島駅西口2階(新幹線改札口向い)





●設立のきっかけ

超高齢化社会を迎え 高齢になっても 身体が不自由になっても 障がいがあっても



安心して宿泊・観光に 来て!

●団体の目的

高齢者・お体の不自由な方が 安心して楽しく旅行ができるよう

- •バリアフリー情報を提供
- ・バリアフリー相談応需
- ・バリアフリーの付加価値提案





私たちの思い、考え

身体障害者366.3万人、知的障害者54.7万人、精神障害者320.1万人

16人に1人が、現在の生活の中でご不便を感じている

現状

バリアがあっても 変えられない

今後



障がい(バリア)は 価値(バリュー)に 変えられる

あなたの傍に16人に1人がいる! その人たちが、多くの仲間を 連れてくる!





活動紹介

一人ひとりの ハンディに合わせた 快適な旅の提案と紹介



- ① 観光・宿泊施設等の バリアフリーの情報発信・提供
- ② 観光·宿泊施設等の バリアフリー調査
- ③ 観光団体・行政・<u>企業等</u>との バリアフリー普及、宣伝
- ④ 高齢者・障がい者への 旅行支援による地域活性化 ⇒花見山車いすサポート事業



地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

- ●バリアフリーおもてなし勉強会
 - 〇花見山 花案内人さん向け研修
 - 〇福島学院大学生ボランティア バリアフリーおもちゃ博
 - 〇福島県旅館組合連合会講演



「障がい者からの感謝の気持ちや 笑顔に触れ、やりがいを感じた」

「障がい者の視点に立って、もっと考えたいと思った」

●花見山 車いすサポート事業





●花見山 車いすサポート観光客の反応 「この素晴らしい活動を知るのに苦労した。 ネットで探しても見つけられない」

「この"介助ありのお花見"にまた次回 も参加したいし、周りの人にも伝えたい」

協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- (1) 広報力不足
- センターの活動を知ってほしい! バリアフリー観光の情報発信力不足
- ② 普及PR力不足 バリアフリー施設を増やしたい! 心のバリアフリーを広めたい!



企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

①広報協力

カンムリ番組を作りたい! 企業HPにバナーを貼らせて! バリアフリー観光や施設の情報発信 「ふくしまバリアフリーツアーセンター」 知名度UP!

②普及PR協力 ブルーペイントプロジェクト



みんな(市民や社員)で 駐車場をブルーペイント塗装 ペンキ代だけ負担して!

山形バリアフリー観光ツアーセンター 画像転載

企業に向けてメッセージ

バリアフリーは顧客満足度をUP!

- ①バリアを少なくする⇒「行けた!」感動 ⇒周りも感動 ⇒最良の顧客
- ②高齢者や障がい者の方は 必ず複数で来る ⇒ 経済効果
- ③バリアがないことは ベビーカーの需要も見込める

何をどうすれば バリアフリーになるのか? ズバリ提案!

廃業寸前の旅館を バリアフリー改装で バリアフリー改装で 奇跡の集客10倍達成! 伊勢志摩BFTC



来る2020年オリンピック・パラリンピックへ

私たちの経験と情報をぜひ活用してください!